2026年11月12日

各　位

会 社 名　　三菱製紙株式会社
代表者名　　代表取締役社長　木坂 隆一
（コード：3864、プライム市場）
問合せ先　　企画管理本部
企業戦略部長　　井能 裕之
（TEL．03－5600－1488）

2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績において、下記のとおり差異が生じましたのでお知らせいたします。また、2027 年３月期通期の連結業績予想につきましても、下記のとおり修正することとしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 85,000	百万円 1,000	百万円 1,000	百万円 2,500	円 銭 28.52
実　績　値（B）	78,050	2,582	2,355	2,835	32.28
増　減　額（B－A）	△6,950	1,582	1,355	335	
増　減　率（%）	△8.2	158.2	135.5	13.4	
（ご参考）前年同期実績（2026年３月期中間期）	79,023	58	362	△1,281	△14.61

２．2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 175,000	百万円 6,000	百万円 6,000	百万円 6,500	円 銭 74.16
今回発表予想（B）	170,000	6,000	6,000	14,000	159.72
増　減　額（B－A）	△5,000	－	－	7,500	
増　減　率（%）	△2.9	－	－	115.4	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	157,455	264	1,720	1,900	21.69

（注）当社は、2027年１月１日を効力発生日として、普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行う予定です。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「１株当たり中間（当期）純利益」を算定しております。

３．2027 年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異の理由

売上高につきましては、国内事業において採算性を重視した印刷用紙の輸出抑制やパルプの輸出市況下落が影響したほか、海外事業においても情報用紙の販売数量が想定を下回ったことから、業績予想を下回りました。

営業利益・経常利益につきましては、原燃料の受払差や継続して取り組んでいる固定費削減・生産効率化等のコストダウン施策等により、業績予想を上回ることとなりました。

親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、遊休資産に係る減損損失や八戸工場における地震による損失を計上しましたが、経常利益が想定を上回ったことにより、業績予想を上回ることとなりました。

４．2027 年３月期通期業績予想の修正

売上高につきましては、下期における製品価格改定の効果は見込まれるものの、上期における販売数量減やパルプの輸出市況下落等の影響を補うには至らず、前回公表予想を下方修正いたします。

営業利益・経常利益につきましては、上期実績は予想を上回って推移したものの、下期においては原燃料価格高騰の影響が本格化する見通しであることから、前回公表予想を据え置いております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当期中の返還実現に向けて検討を進めている退職給付信託資産の一部返還に伴う影響等を織り込み、前回公表予想を上方修正いたします。

なお、退職給付信託資産の一部返還につきましては、現在、外部専門家等と協議・検討を進めている段階であり、今回の業績予想には現時点で合理的に算出可能であると判断した最善の見通しに基づいております。今後、具体的な返還時期および影響額を含め、開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以　上